

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				54
	客観性 : 思考的思慮深い				63
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				51
	気分性 : 感情のまま行動				47
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				56
	規則性 : 常識的・順法的				32
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				59
	自尊心 : 気ぐらいが高い				53
自制型	慎重性 : 見通しをつける				57
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				39

■この人の中心性格は「思索・客観性」および「積極・競争性」であるが、「自制・慎重性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ

自分の内面的世界で独自の価値観を形成し、自分自身を深く見つめていて、発想やアイデアにはセンスのよさを感じさせる。また、たくさんの交友関係を望んでいるわけではないが、気の合う友人とは深い付き合いをしていて、他人など周囲への配慮もみられるという社会性をそなえている。そして、冷静かつ的確な判断をしようとしていて、客観的なものの見方をしている。ときに、その客観的すぎる判断や意見について、冷たいとの印象を他人に与えてしまうことがあるが、そこに他人を見下したり冷笑するような発言がない限り、おおきな障害になることはない。物事の取り組み方は、内容と結果を検討しながら、加えて他人と比較しながら、自分が評価されることが重要と考えることがある。多少、勝気な性格といえ、他人と競合するような場面では実力以上の結果を生み出すことがある。精神的には独立していて、他人に依存したり、押しつけがましさは好むところではない。思いあがった独善性もなく対外的には頼りになるが、他罰的傾向もみられる。

●もう一方の性格特性

規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				43
客観・科学型				57
社会・経済型				46
心理・情緒型				43
審美・芸術型				46

物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				66
協調性				56
責任感				55
自己信頼性				63
指導性				66
共感性				50
感情安定性				65
従順性				22
自主性				71
モラトリアム傾向				44

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。

多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				64
親和 欲求				54
求知 欲求				54
顕示 欲求				68
秩序 欲求				38
物質的欲望				64
危機 耐性				57
自律 欲求				63
支配 欲求				64
勤労 意欲				69

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。仲間と競いあっていくより、穏やかな環境の中にいたい。知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追求める。自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。多様な価値観や人間関係、状態を受入れることができる。モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。